

新まちづくり計画 ( H16 ~ 18 ) 事業総括調書

施策体系コード	2-2-3	事業名	少子化対策普及啓発事業
担当	子ども未来局子ども育成部子ども企画課 青山 211-2982		
全体計画 ( 当初 )			
事業内容	少子化問題や子育て支援の必要性に対する市民や企業の理解の促進と社会的関心が高まるよう、少子化や次世代育成支援に関するフォーラムや研究会等を開催し、国及び札幌市における少子化の現状や子育て支援策に関する情報の提供を行う。 (具体的な事業内容) 少子化対策・次世代育成支援に関するフォーラム等の開催		<年度別の事業内容> 当該事業は、少子化対策・次世代育成支援に関する様々なテーマを設定し実施している。 平成16年度のテーマ 「仕事と家庭の両立支援」と「働き方の見直し」 平成17年度のテーマ 「子どもの写真や親子のメッセージの発信」、「地域の子育て支援活動の普及」、「若者への意識啓発」 平成18年度のテーマ 「企業における次世代育成支援の取組の推進」、「少子化に関する「若者の若者による若者のための」事業の実施」
	平成16年度事業内容 ( 決算 )		平成17年度事業内容 ( 決算 )
事業内容 ( 量・場所・規模等 )	<p>「次世代育成支援のためのセミナー」の開催                      テーマ:人口減少社会の到来～「働く場」に求められる変革                      日時:2005年3月24日(木)14:00～17:00                      会場:道新ホール                      対象者:企業・事業所の関係者、経済・労働団体及び市民                      来場者数:約300名                      プログラム                      特別講演「これからの10年～人と企業と地域」                      講師:篤信彦氏(ジャーナリスト)                      提言「働き方の変革としてのワーク/ライフ・バランス～組織と社員のWIN-WIN関係を築く人事戦略」                      講師:パク・ジョアン・スックチャ氏                      ワーク/ライフ・バランスについての対談                      対談者:パク・ジョアン・スックチャ氏と橋本登代子氏</p>		<p>1.「ほのぼの写真&amp;メッセージ」募集                      目的:子どもの良さを改めて感じてもらう機会とする。                      募集期間:H17.9/9～10/31                      テーマ:写真「子どものいる風景」/メッセージ「親(子)から子(親)へ」                      応募数(うち入賞数):写真236(10)、メッセージ88(8)                      2.「さっぽろ子育て支援推進フォーラム2005」開催                      目的:地域での子育て支援活動等の普及と情報の共有化                      日時:H17.11/21(月) 12:00～16:30                      会場:札幌コンベンションセンター                      対象者・来場者数:地域の子育て支援関係者など、約650人                      プログラム:講演「楽しく子育てするために」(北海道教育大学大学院庄井良信助教授)/事例発表(地域での子育て支援活動等)                      3.「吉本流ちよつとまじめな少子化激論トーク」開催                      目的:次代を担う若者たちの価値観を語る場を設けるとともに、少子化への関心を促す。                      日時:H17.12/21(水) 18:30～20:30                      会場:アーバンホール                      対象者・来場者数:高校生以上の未婚者など、約130人                      プログラム:「ほのぼ」授賞式/笑ハンティング(吉本興業)等をゲストとし、一般公募した若者による結婚観などについて発言、司会者による少子化の現状についての解説など。</p>
	平成18年度事業内容 ( 決算 )		評価 ( 成果 )
事業内容 ( 量・場所・規模等 )	<p>市長と財界トップ会議                      日時:平成18年9月4日(月)                      会場:市長公館                      テーマ:「ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して」                      出席者:市長、札幌商工会議所 高向会頭、実践女子大学 鹿嶋教授、フリーキャスター 林美香子氏                      市民向け啓発紙の配布                      「さっぽろシティライフ特別号」                      ～ワークライフバランスについて考えてみよう～                      約6,000社、56,000部を3月末に配布                      学生プロジェクト発足                      「少子化について“楽しく”“真剣に”考える学生委員会」                      企画から学生が企画し、ホームページ・ブログの開設、体験学習、企業インタビュー、100人規模のワークショップ等を経て、3月末に市長へ提言書を手交</p>		<p>子育て家庭や地域、企業、若者など、幅広い層の市民に対して積極的な情報提供や効果的な働きかけを行うことで、少子化の現状や次世代育成支援の重要性についての理解が広がった。</p>
			課題
<p>19年度以降の方向性・事業の予定</p> <p>子どもを生み育てやすい社会の実現に向け、さらに次世代育成支援の取組を社会全体に広げていく必要がある。                      普及啓発の重要度が高いターゲット(企業、若者)に対して、より効果的な啓発促進・具体的な取組促進を図る                      ・企業におけるワークライフバランスの取組促進のため、取組企業認証制度を創設し、助成等の優遇措置など効果的な支援策を検討し実施する。                      ・若者が少子化等の社会問題に関心を持ち、早い段階から働き方や自らのライフプランをイメージし、自立につなげるため、若者たち自身による効果的な手法の考案・検討を行い、そのツールを用いて広く啓発する。</p>			

## 新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

(単位：千円)

施策体系コード	2-2-3	事業名	少子化対策普及啓発事業				
事業費の推移							
項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)	
計 画	事業費	3,000	3,000	3,000	9,000	-	
	財源内訳	国・道支出金	3,000	3,000	3,000	9,000	-
		市債				0	-
		その他				0	-
		一般財源	0	0	0	0	-
実 績	事業費	3,000	3,000	7,824	13,824	153.6	
	財源内訳	国・道支出金	3,000	3,000	6,000	12,000	-
		市債	0	0	0	0	-
		その他	0	0	0	0	-
		一般財源	0	0	1,824	1,824	-
計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）							
[18年度予算] 「レベルアップ事業」として、500万円が上乗せされている。  普及啓発の重要度が高い「企業」と「若者」をターゲットとして、若者については17年度に引き続き少子化社会に対する理解や関心を促す事業を、また、企業については「働き方の見直し」や「仕事と家庭の両立支援」を推進するための事業を行った。							
主な施設、サービス等の整備水準							
項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)		
関連予算事業内訳							
予算事業名(小事業名)	経・臨 臨時	枠内外 枠外	16年度	17年度	18年度	計	
少子化対策普及啓発事業費			3,000	3,000	7,824	13,824	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
計			3,000	3,000	7,824	13,824	